

株式会社アニマックスブロードキャスト・ジャパン

番組審議会議事録

1. 開催年月日 2025 年（令和 7 年）3 月
2. 開催場所 虎ノ門タワーズオフィス 6 階会議室 Room5
3. 委員出席

委員総数 7 名

出席委員数 7 名（対面参加 6 名、書面参加 1 名）

出席委員の氏名 重村 一（委員長）

内山 隆

樹林 ゆう子

高橋 望

金子 ありさ

桶田 大介

森川 美穂（書面参加）

4. 議題

審議作品 アニマックス「茅原実里 20th Anniversary Live “Historical Parade”
～みちしるべの先へ～」（24 分）について

放送日程：2024 年 11 月 24 日 日曜 22:00~22:30

審議作品概要：自身の音楽活動 20 周年を記念したライブ「茅原実里 20th Anniversary Live “Historical Parade”」。

番組は、このライブに向けて東京でのリハーサル、富士河口湖町での地元の人たちとの交流、そして本番直前まで追いかけた。

14 年続き、3 年ぶりとなる山梨・河口湖ステラシアターのライブで、茅原実里が想ったこと、伝えたかったこと、そしてこれからのこと。

20年間の活動の「みちしるべのその先」には何が待っているのか。。

このドキュメンタリー番組の直後には「茅原実里 20th Anniversary Live “Historical Parade”」のライブの様子がテレビ初放送されました。

5. 議事の概要

- ① 本作品のご感想、表現やテーマ等でお気づきの点など。
- ② 画面を通して出演者（茅原実里）のアーティストとして、人間としての魅力が届いているか。
- ③ この番組が直後に放送された彼女のライブ番組を見るモチベーションとなっているか。
- ④ 純粋にドキュメンタリーとしての見ごたえはどうか。

6. 審議内容

- ・ アニメ専門チャンネルとして先の事を考えると番組審議会ではオリジナルに近いアニメ作品を出してほしいと感じた。
- ・ この作品はいわゆる一つのプロモーションビデオ。歌とアニメの作品にどういう関わりがあるか全く分からなかった。権利問題もあると思うが、歌の間に使用されていたアニメ作品の映像を出してもよいのではないか。
- ・ ドキュメンタリーとして見た時、深みと突っ込みが足りない。歌を辞めようと思ったという貴重な話で、何故かというところがほとんどスキップされている。見る側が物足りなく感じるのではないかと思った。
- ・ 他のアニメ制作会社では海外からの収入とゲームの使用で今年最高益が出ているところもある。アニメ専門チャンネルとしてそこに入ってくる気概が欲しいとこの作品を見て思った。30年近く続けてきた知名度と人脈があるはず。あそこなら何かつくってくれるのではないか、と思わせるような例を一つでも出し、海外から受注できるようにしないとこのままでは非常に厳しいと思う。アニソンは一つの繋ぎになると思うが、そこで生き延びられるとは思えない。
- ・ もっと尺を詰めたいと第一印象で思った。番組の始まりから終わりに向けて感情の盛り上がり方が足りなかった。テンポ感をもっと改善できるのでは。
- ・ コアファン向けか、新規開拓も含めて考えるのかで違うと思う。コアファン向けであると今の状態では足りない。新規の方にはフックがかからないのではないかと思う。

- ・ 声優の方の作品の為、声質が好きで、という入口があると思う。茅原さんの生の声を大切にすべきで、他の方の声はそこまで入れなくていいのではないかと思った。茅原さん自身の発言やナレーションが重要だと思うが、オフの茅原さんのお話にキレがなかった為、よい部分を切って散りばめた方がいいのでは。それでも上手くいかなければテロップを増やす等もいいと思う。
- ・ 赤バックで縦書きのテロップを出す進展感は非常に良かった。
- ・ 20 分間途中見るのをやめようとは全く思わなかった。よい番組だと思う。
- ・ 茅原さんを存じ上げなかったが、正直でストレートなすごく魅力のある人、という印象を受けた。
- ・ もっと知りたいと思った方向けに、デビュー時の映像や学生時代の映像を入れるなど親切的な作りにしてもよいと思う。演奏仲間とのじゃれあいはいらないと感じた。
- ・ 河口湖の方々との交流が面白かった。そちらからも取材したらもっと深くなると思う。
- ・ コロナ時に聞いた話があったが、あの時期に聞いた人は大勢いるはず。ファンの為だけでなく、人間的に共感を生む人間ドラマ的な見せ方もできるのでは。
- ・ 地元の盛り上がる映像があるとグッとよくなると思う。
- ・ 作品は凄く面白かった。当然ライブシーンがあると思って見ているとそのまま終わってしまい物足りなく感じた。逆に言うとライブが見たいと思えた為、番組としてはよくできている。
- ・ CS のアニメ専門チャンネルがこういった周辺分野を取っていくのは凄くいいと思う。
- ・ もっと内容の掘りようがあったのでは。河口湖の話は凄くおもしろい。茅原さんが河口湖でライブしようとしてどうして思ったのか、ファンの応援模様なども含めて長尺版も作れると思う。ファン向けに長尺版や DVD を作成してもよいのではないかと思う。
- ・ 正直単体で見ると少し物足りない。人として魅力ある人だと思うので、その辺を掘り起こせば、それをきっかけに長尺版を見ようと思う人が生まれるかもしれない。
- ・ 新たな独自のコンテンツとして、ビジネス展開も充分できると思う。
- ・ ファンの方、興味のある方がとても喜ぶ作りになっている。表現者の方のポリシーやライフスタイルを誠実に追っていて、私自身存じ上げなかったが、面白い素敵な方と思っ
て見ることができた。
- ・ 今回機会があつて拝見したが、中学生の息子や主人が見るかと言われると全く接点がないのでは思う。
- ・ 切り抜きができるとよい。Tiktok や youtube 用のショートで切り抜きができる場面が連なっているとずっと広がりが出ると思った。1 例を挙げると歌いだしで止める等。
- ・ 世代的には私ぐらいがターゲットではないかと思う。ターゲット層はそこまで大きく

ないと思うが確実にファンがいて、露出情報が多くない方の為、こういう情報自体が貴重として加入も獲得できるのではないか。

- ・ 権利が取得できるかどうかの話もあると思うが、ターゲットを絞っているのであれば放送内容は総集編として契約者なら期間限定・受注生産でフル尺版を購入できるなどの路線も検討してよいのでは。
- ・ どれだけ手間暇をかけて作成するのが悩ましそうに感じた。今後もこういう放送を丹念に行っていくのであれば、入口としてはアーティストや声優は分かりやすいと思う。また、最近はクリエイターがイベント上映とトークを組み合わせで行っている数が増えている。作画や映像制作に関心を持っている人は限られていると思うが、クリエイターにも光を当てられるとステレオタイプのイメージが崩せて面白いのかなと思う。
- ・ 茅原さんの言葉遣いの美しさが素晴らしいと思いました。感謝の言葉がとても多く、気持ちの伝え方は若い世代だけではなく、私たち世代も学ぶべき事が多いと感じました。
- ・ アーティストとしての部分があまり感じられなかったのですが、人としての魅力は十分に伝わる内容だったと思います。優しさや周りへの気遣い、喜びの伝え方など人間性の素晴らしさは伝わります。
- ・ どんなパフォーマンスを見せてくれるのか少し観てみたい気持ちにはさせられると思います。
- ・ ドキュメンタリーとしては作りが浅いと感じました。色で表現すると一色。いつも同じテンションで、変わり映えしない印象。周りのスタッフやバンドメンバーから一言、二言のインタビューがある、本人の表情だけで語るシーンなどがあればもう少しドキュメンタリーとして見応えがあるのではないかと思います。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

番組演出の改善点など、今後作品をよりよくしていくためのアイディアも多く教示いただきました。こうした各員からのご意見を制作者に共有し、今後の制作の参考として参ります。

以上